



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

国際主題 Once More We Stand 心新たに立ち上がる
アジア区主題 Once More We Stand 心新たに立ち上がる
西日本区主題 飛翔たとう ワイズスピリットを胸に 泰然自若の精神で
京都部主題 ワイズにビジョンを、思いやりと共に ~世界のワイズが輪になって~
メネット主題 「愛の心」 ~原点に立ち返って私たちに出来ること~



あなたがたは、力を尽くして信仰には徳を、徳には知識を、知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には信心を、信心には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。

ペトロの手紙2第1章5節~7節



「クリスマスの時に」

京都YMCA青少年育成部門部長 久保田展史

クリスマスのシーズンがあっという間にやってきました。「クリスマスってどんな時？」アウトドアクラブに通う子ども達に聞いてみました。口々に「プレゼントをもらう日!」「ケーキを食べる日!」賢そうな眼をした子どもが「イエス様のお生まれになった日!」おどけた目をした子どもは「サンタさんの誕生日!」

今、市内のホテルのロビーで「にこにこトマト絵画展」が行われています。これは京大病院の小児科に入院している子ども達を支援するボランティアグループ「にこにこトマト」が、プログラムの中で墨や絵の具を使って書いた絵画の作品を展示しているものです。(私達京都YMCAの病院訪問グループもこのグループの一員です)展示されている作品とともに、製作に取り組んでいる子ども達の姿が小さな写真で作品の下に紹介されています。子どもらしい生き生きした作品と見比べて、思わず涙が出てしまいました。「これはこの子たちの生きている証しなんだ」そう読み取ると、どんな気持ちを込めてこの作品を書いたのだろうと考えて胸が締め付けられたからです。思いもよらなかった発病と入院。そしていつまでかかるか先のわからない治療。大人でも不安でいっぱいになるでしょうに、子ども達はその不安を小さな体で受け止めています。治療の結果、治癒して退院する子どももいれば、その大切な命を終えてしまう子どももいます。でもその様にして入院している子どもたちも日々成長しているのです。というより子どもは誰もが成長することを欲していて、あらゆる刺激に興味を持ち学んでゆこうとしているのです。病気を持っている子どもも病気のせいでゆっくりとしたペースかもしれませんが同じなのです。「この子たちの日々成長しながら生きているしるしのひとつなのだ!」作品を見てそう感じます。人間の命は限りのあるものです。すべての命は均しく大切でありますが、生きたしるしを日々残しているとすれば、多くのしるしを残せる人たちより、少ないしるしの方が一つ一つが濃いような気がします。病気のために日々闘っている子ども達のしるしに「がんばれ!」と声をかけてあげたくになります。

私達大人は子ども達の前を歩く者としてこの小さな命がすくすくと伸び伸びと生きられるように力を尽くさねばならないと強く思います。ワイズの活動はまさに将来を支える子どもたちに目を向けた奉仕活動であり、これからも大きな期待をされる存在なのだと思えます。どうぞ、クリスマスのひと時この子たちのことに思いを巡らしてお祈りください。

会長主題

豊かな心を求めて
YMCAと共に

Restart!
Aim for double

会長 森 伸二郎
副会長 三村 良行
小泉 洋
書記 岡西 博司
会計 永濱 貴章

11月例会案内

1日(水) 第一例会

部長公式訪問とEMCアワー 部として京都の各クラブに期待される事と協力を要請される事を聞き、今後のクラブ運営を考察しましょう。

23日(木) クリスマス例会

今年は、4クラブ合同でクリスマス例会を開催。厳かにそして楽しいクリスマス企画を企画いただいているそうです。みんな集まれ!

例会出席

11月第1例会	13名
11月第2例会	14名
在籍者数	14名
出席率	100%
前回出席修正	

B Fポイント

切手	0pt
現金	0円
累計	0円

ニコニコ

11月第1例会	0円
11月第2例会	10,000円
累計	37,500円

ファンド

11月	0円
累計	41,200円

強調
月間

EMC-MemberShip

会員同士の親睦を深め、クラブ発展の為の礎を築こう。西日本区2000名に向かって!

新山 兼司 EMC事業主任

11月3日(水)文化の日の祝日、京都YMCA福祉専門学校学園祭が三条本館にて開催されました。くしくもこの日は、京都部CS事業主催で今期の目玉事業であるワイズデー開催とバッティング、当プリンスクラブは三役会、役員会等で論議を重ねた結果、今出川YMCAの時よりサポートを続けている京都YMCA福祉専門学校学園祭に模擬店を出店させていただき専門学生の方々と交流することに決定。得意のホットドック販売を受け持ち参加、事前の準備は金丸委員長のお働きと金丸美貴メネットが早朝より具材のキャベツを調理していただき食材の準備は滞りなく完了、10時より始めた設営準備も手慣れたものでほどなく完了、調理用使用機器の電力ワット数オーバーでYMCAの電源が遮断されるハプニングも発生し参加メンバー一同、肝を冷やす場面もありましたが小野ワイズのテキパキとした対応のおかげで無事開店。さすがに建築関係の監督さんでした。

12時より販売を開始し2時過ぎには完売、売上金は全額金丸委員長の思いである国際協力募金としてYMCAに、この募金が有意義に使われることを希望します。昼食はプリンスと同じく以前よりサポートされているめいぷるクラブの焼きそばをいただきました。今回は京都クラブが留学生によるのど自慢大会も企画され学園祭を盛り上げておられました。参加メンバーお疲れさまでした、来年もよろしくお祈りします。



ワイズデー

2010年11月3日
広報主査 西堀 和之 ys

11月3日京都部のワイズデー実行委員会主催のワイズデー「ワイズ祭り」が秋晴れの下、京都部所属の17クラブが支援協力する各種社会福祉団体の人たちと一般市民との交流、市民の奉仕活動に対する理解を深め、ワイズメンズクラブの知名度イメージ高揚を目的として開催された。参加団体は16団体。同委員会の発表ではワイズデーの参加者は900人余。

ワイズデーは1993年からワイズメンズクラブの統一事業として全国一斉に始まるが日本区が東西に分かれてから京都部は統一事業として鴨川の清掃、環境問題を取り上げた展示会、HIVに関するシンポジウムなど各種事業を実施してきたが今回のように900名を越える参加者規模は初めてのことで大いに会場は盛り上がっていた。図らずも同日京都YMCA国際福祉専門学校の学園祭の開催や宇治市の催しで従来から参加協力しているクラブもあり全ての在京クラブが参加できなかったのは残念であった。

「ワイズ祭り」は朝7時から会場の設営。9時半、仁科西日本区理事の臨席を仰ぎ阪田京都部部長の開会宣言で始まる。各クラブは得意とする屋台を出店し、子供向けには金魚すくいやスマートボール、参加団体からは陶器、手芸品、綿菓子などが所狭しと並べられ、10時を過ぎる頃には豚汁、コロッケ、焼きそば、焼き鳥、たこ焼きなどの屋台に長い行列ができる。梅小路公園に遊びに来た近隣の人たちも屋台から漂う香りに負けて食券購入。食欲の秋を満喫されていた。

午後は大きな野外ステージでクラブメンバー有志のジャズの演奏、参加団体による合唱や踊りなど盛り沢山の余興が披露され、中でもYのリーダーたちは集まった子供たちがYのプログラムに参加する子供たち即ち「お客様」ではなかったので当初対応に戸惑いを禁じ得なかったものの日々の研鑽が功を奏し子供達からやんやの喝采を浴びていたのは印象的であった。午後2時過ぎには各屋台が用意していた食材も底をつき、午後3時ワイズ祭りは事故無く全て終了。後片付けも手馴れたもので、ごみ一つ残さず4時過ぎには全て撤収される。お疲れさん!!

ワイズデーに関しては西日本区のHPの資料庫にある各種マニュアル「主査の手引き」に詳しい経緯が記されていますのでお目通し下さい。



今回の例会は、ゲストスピーカーをお招きしての通常例会でした。ゲストスピーカーは、生と死の臨床におけるソーシャルワークを専門とされている、関西大学人間健康学部助教授であられる社会福祉士、金子絵里乃先生です。演題は「やさしい死生学」で、臨床死生学という学問は私にとっては聞いたことが無い、初めて知るものでした。まだまだ講義の少ない新しい分野の学問とのことでしたが、お話が進むにつれての私の解釈は、「生」、「いのち」への取り組み方を研究し、福祉に結びつけようという学問なのだと理解しました。

金子先生は、お若くて、常に笑顔絶やさず、軽妙にスピーチされたので、堅苦しい学問を学ぶ、あるいは聞くという雰囲気と違ってメンバー一同明るい雰囲気を楽しめました。

スピーチの内容は、脳についての話が中心で、いのちをささえる脳をしあわせな脳に育むには？というタイトルで話が始まりました。告知、自死予防とか、愛する人をなくした人のケアというのは、慢性的ストレスが脳に良くなり死につながる為、大事であるとの話があり、次に我々が興味を示しやすいようにと思われる話。脳の重さは？ 体重の2%である。大きい脳のほうが頭はいいとは限らない。扁桃腺は0.1秒の一瞬で恋をする。恋愛するとテグメンタが大きくなりより動く。失恋すると扁桃腺が活発になる。つり橋の上での告白は成功率が高い。等々の話がありました。

我々の脳には1200億の神経細胞があり、脳を働かすと増えるそうです。しあわせホルモンであるドーパミンとセロトニンを増やすには、脳に血液が送られるスポーツ、エネルギー源のぶどう糖とかたんぱく質のためによい大豆とかの食事、脳を良くする特効薬である恋愛が良いそうです。「脳を鍛えてしあわせになることは、今からも出来ます。」「生き方を見つめ、今を生きることがいのちを育みます。」と締めくくられました。次の質問コーナーでは、たくさんの質問が出て大変盛り上がりしました。

今日、ハッピーバースデーを祝っていただいた私は還暦だったのですが、十干十二支が60年たって一回りして生まれた時のものと同じ干支に戻るということは、今日の講演と縁があるのかなと思いました。タイトルのキーワード、「死」と「生」から連想したからです。第二の人生を、第二の青春として、ますます元気で歩みたいと思います。

金子絵里乃先生からのメッセージ

『今日はハッピーなひとときをありがとうございました。たのしみにしていたのですが、始まる前よりももっともったのしかったです。みなさまがどう感じていらっしゃるのか、感想をお聞かせ頂けたらうれしいです。』

すばらしい活動をしなが、みなさん、とてもニコニコとたのしそうにされていて、みなさんにとって貴重なひとときですね。生活が潤う時間を持つこと、すてきだと思います。

今回は、死生学のなかでもマイナーなお話でしたが、また機会がございましたら、別の切り口でお話させていただければと思います。いろいろつながりをくださり、どうもありがとうございました。』



東京サンライズクラブからの報告

11月6日(土)にあずさ部部会をホストしました。ちょうど甲府21クラブの20周年記念例会が開催されたので、何度も集まるより一緒に開催すれば負担も少ないだろうという事で、同時開催という事になりました。記念講演も懇親会も甲府21にお任せして、部会は間に挟んで頂き簡単に済ませました。部長ホームクラブとしてはしっかりと部会をホストしなければいけなかったのですが、部長の手抜きの部会になってしまいました。しかし、記念講演は80分の長尺物の講談「野口英世の生涯」で、内容もなかなかのものでしたし、懇親会もゆったりとした会場で、食事もお酒も十分に行き渡り、落ち着いた雰囲気の会になりました。もっとも、全部甲府21のお世話でしたが、結果オーライの部会だったと思います。

東広島クラブからの報告

11月23日はチャリティランが広島中央公園にて行われました。前日は予報に反し、かなりの大降りになり心配しましたが、当日は嘘のように晴れ渡り絶好のチャリティラン日和になりました。我がチ-ムは申請タイムより2分ほど早く33位でした。少し頑張りすぎたかも？ 終わってから好評の、トン汁がふるまわれました。

毎年この時期にクリスマスリ-スを作り、YMCAと六方学園に贈っています。今年はメンバ-の予定が合わず、すぐ請け合う悪い癖？の私が引き受け、家の廊下に新聞紙を広げ、悪戦苦闘の末直径60センチほどのリ-スを2個作りお持ちしました。大変喜んで頂きました。



ファンド事業委員会最大の事業であるジャガイモファンドのジャガイモ等の受け渡しを10月24日(日)に毎年お世話になっている株式会社丸北北尾商店様(京都中央卸売市場)で行った。委員会のメンバーには準備等があるため7時30分に集合、クラブメンバーの方々には午前8時~11時までに引き取りに来て欲しい旨、ご案内をさせていただいた結果、皆さん早い時間に引き取りに来ていただけた。当日は、大変良い天気恵まれたので配達等にも支障がでず、その上皆が配達等も手分けして手伝って下さったお蔭で順調に作業が捗った。絶大なるご協力に感謝している。今年は、OB4人の方にも多くのファンドをしていただき感謝である。販売数量は、ここ2,3年500ケース程だったが今年の販売数量は、現

有メンバー数からするとますますであったと思う。ちなみに、今年の総売り上げ個数は460個(ジャガイモ、カボチャ、玉ネギ、さつまいも、みかん)

例年のジャガイモファンドの伸び悩みを鑑みると何とか残り半期の間に2,3回のファンド事業を考えたいと思っている。その折には、在京クラブの会長様には早くからご案内をさせて頂き協力を仰ぎたいと考えている。今年のスイカファンドの時も感じたことだが何処のクラブもファンド事業では苦勞されていることが伺えたので、時間の余裕を見て案内すれば、ファンド事業として取り上げて協力いただけると思う。いづれにせよ、メンバー各位のジャガイモファンド事業へのご協力に感謝している。

荒木ワイズ、北野メネット歓迎祝賀会

メネット会長 森 節子



11月19日(金)、御池通りのレストラン、ラ・ドールにおいてメン10人メネット5人の計15人の参加で、午後七時からはじまりました。荒木ワイズは仕事のため少し遅られるとのことで、まず北野ワイズの結婚のお祝い、英津子メネットの歓迎の乾杯からはじまりました。9月に入籍され、あつあつの新婚生活を送っておられるというお話を聞き、根掘り葉掘りなれ初めなどを、皆でよってたかって聞き出しました。お二人のやさしい雰囲気私たちもとても暖かい気持ちになりました。ういういしいと言う以外には何も無いお二人、これからも末永くお幸せに。メネットさんが増えたことは、ほんとうにうれしいことです。

さて、いよいよ荒木ワイズが到着され、改めて歓迎の乾杯です。お酒も大分まわってきいてきたこともあって、参加メンバーの話もはずみ、荒木ワイズは例会では見ないメンバーの素顔に終始ニコニコ顔でした。そして、軽やかに若々しくタップダンスのステップを披露されました。お見事でした。若いって、ほんとにいいですね。プリンスクラブも若いメンバーにあやかって、若返ってほしいです。

楽しい時間はあっという間に過ぎて、北野ワイズからいただいた紅白のボジョレヌーボーで乾杯し、お開きとなりました。うれしいことが二つも重なって、本当に二倍楽しいひとときでした。



上半期トピックス



クリスマスおめでとございます。今年も世界中に数え切れない苦しみや悲し

みがありました。貧困や紛争、地震や洪水、差別、病という大きな壁の前に立ちつくす人が今もおられます。絶望から希望へとつながることが、ワイズメンズクラブ、YMCAの活動を通してできればと願った1年でもありました。さて、教会ではクリスマスの4週間前からアドベント(待降節)として、主イエス・キリストを迎える準備をします。クリスマスカラーに彩られたツリーやリースが飾られ、4つのローソクを1週ごとに灯してクリスマスを迎えます。1本目は優しい心、2本目は丈夫な心、3本目は忍耐強い心、4本目は祈りを求める心、悔い改める心を指すそうです。クリスマスの本来の意味を改めて考えるにつけ、私たちYMCA、ワイズメンズクラブの使命を強く認識させられます。と同時に大きな誇りと喜びが与えられます。『あなたがたは、布にくるまって飼料おけの中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたへのしるしである。』

ルカによる福音書第2章12節

1.クリスマス献金受付中

クリスマス献金への、ご協力よろしくお願い致します。キャンペーン期間は12月1日～1月31日となります。

2.会員クリスマス

京都YMCAでは、今年もクリスマスのプログラムを行います。一般の方もご参加できます。ご家族、お友達で是非ご参加ください。

クリスマス礼拝・キャロリング

日時 12月17日(金) 礼拝・キャロリング 午後7時～9時解散予定 奨励 高塚郁男牧師(日本福音ルーテル教会 賀茂川教会)

場所 三条本館および三条寺町界限・新京極周辺でキャロリング

ロビーコンサート

12月13日(月)～17日(金)各日午後7時～京都YMCA三条本館1階ロビー ハンドベルのみ午後6時30分からとなります。

13日(月)バイオリン演奏(李楊)

14日(火)ハープ演奏(近藤謹子)

15日(水)ハーモニカ演奏(デュオ・ユツラ)

16日(木)ゴスペルコンサート(Vocal Unit Joy)

17日(金)ハンドベル演奏(京都ノートルダム女子大学ハンドベルクラブ)

3.スキーキャンプ参加者募集中!

会員外の方は各キャンプ費用のほかにシーズン会費2,000円(ファミリーは4,000円)が必要です。

A.白山スキー 初心者～中級者向き

対象 小学1～6年生 日程 2月10日(木)夕～13日(日)夜 3泊4日(3泊10食)

定員 70名(最少催行人数25名)

行先 白山瀨女(せな)高原スキー場(石川県)

宿泊 金沢学院大学白山麗研修センター

費用 49,500円(内申込金8,000円)

B.リトルキッズスキー春 初心者～中級者向き

対象 小学1～2年生 日程 3月26日(土)朝～30日(水)朝 4泊5日(4泊11食うち車中1泊)

定員 60名(最少催行人数25名)

行先 志賀高原横手山スキー場(長野県)

宿泊 木戸池温泉ホテル

費用 65,000円(内申込金10,000円)

C.小学生スキー春 初心者～中級者向き

対象 小学3～6年生 日程 3月26日(土)朝～30日(水)朝 4泊5日(4泊11食うち車中1泊)

定員 60名(最少催行人数25名)

行先 志賀高原横手山スキー場(長野県)

宿泊 木戸池温泉ホテル

費用65,000円(内申込金10,000円)

D.中高生スキー春 初心者～中級者向き

対象 中学1年～高校3年生 日程 3月24日(木)夜～30日(水)朝 6泊7日(6泊10食うち車中2泊)

定員 30名(最少催行人数15名)

行先 志賀高原ジャイアントスキー場(長野県)

宿泊 ホテルベルグ 費用69,000円(内申込金10,000円) 昼食費は含みません。

E.チャレンジスキー春 中～上級者向き

小学4年～高校3年生 YMCAワッペンテスト5取得または緩斜面でのパラレルターンができる方対象となります 日程 3月24日(木)夜～30日(水)朝 6泊7日(6泊10食うち車中2泊) 定員 25名(最少催行人数10名)

行先 志賀高原ジャイアントスキー場(長野県)

宿泊 ホテルベルグ 費用69,000円(内申込金10,000円)

昼食費は含みません。

4.ボランティアセミナーのご案内

がん患者さんとそのご家族へ苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 2010年12月18日(土) 午後7時～9時

場所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お一人300円(お茶代等)

申し込み 下記お電話又は vb@kyotoymca.or.jp

Happy Birthday

December

該当者なし

今月のスケジュール

12月

1日(水)	第一例会 京都部部长公式訪問
13日(月)	京都YMCAロビーコンサート
～16日(金)	
15日(水)	三役会 会長宅
17日(金)	京都YMCAキャロリング
22日(水)	役員会 京都YMCA
23日(木)	第二例会 ファミリークリスマス

役員会報告

<承認された議案>

CS事業として聴覚障がい児キャンププログラム「マイマイ」の活動に関わり支援する

ハワイ区ウエストオアフクラブとIBC締結

Xmas例会登録費 ドライバー委員長に一任